

288) 目をつぶったら

目を開いたら何も見えない 目をつぶったらあなたに逢える
まっ暗闇のベッドの上で 静かさの中間き耳たてた
時の流れを刻み続ける 時計の音がかすかに響く
わたしの恋の終わりを告げる 悲しい歌を奏^{かな}でるように

目を開いたら何も見えない 目をつぶったらあなたに逢える
小雨に濡れたプラットフォームで 後ろ姿を見送ったとき
あなたが遠く去ってゆくのを 女の勘でわかっていたの
つかみそこねた恋の抜け殻 心の奥にしまっておくわ

目を開いたら何も見えない 目をつぶったらあなたに逢える
いつもあなたに愛されながら あなたのそばで暮らしたかった
長い髪の毛肩まで切って 倅せだった日々にさよなら
でも泣かないわ明日があるから また新しい朝が来るから

目を開いたら何も見えない 目をつぶったらあなたに逢える
このまま深い眠りにつけば 永遠^{とわ}の眠りに落ちてゆきそう
そんな気がして眠りにつけない 羊^{ひつじかぞ}数えて夜をすごした
明日になればこの哀しみも 過ぎた季節になるのでしょうか

目を開いたら何も見えない 目をつぶったらあなたに逢える
明日になればこの哀しみも 過ぎた季節になるのでしょうか